

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸 (レールタイプ)専用枠材

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

IKF-SC/SN
IHF-SC/SN

ソフトアート

固定枠155mm幅・170mm幅

[標準] 片側ソフトクローズ [オプション] 両側ソフトクローズ・ソフトクローズ無し

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

・ビスはビス穴に取り付ける。

ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC (揮発性有機化合物) 対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・躯体に欠点がないことを確認する。

枠材固定のビスがあたる部分に筋や割れなどの欠点がある場合、枠材が確実に固定されず、はずれてしまう原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。

・同梱の金具を使用する。

本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

・調整用戸車・レール等は消耗性部品。

引戸用戸車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお薦めします。

・補強の飼木(現場調達)を入れる。

ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部品があります。

枠本体セット							
部材名	縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール 幕板付 (アルミ)	鴨居 レール (アルミ)	
入数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本	—
	引き違い戸	2本	—	—	1本	1本	1本
備考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—

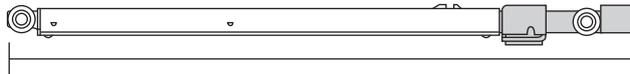
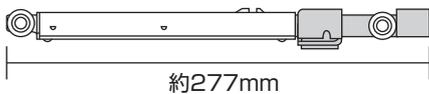
別梱包		敷居埋め込みの場合		床直付けレールの場合		
部材名		敷居		敷居		
入数	片引き戸	本体1本	レール1本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス8本
	引き違い戸	本体1本	レール2本	レール1本	戸じゃくり キャップ2個	レール固定 ビス16本
備考 (部材品番等)		—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに同梱)								
		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ 	組み立て ビス 	下枠固定 ビス 	躯体接合 金具ビス 	六角レンチ 	クッション キャップ
		セット品番						
入数	片引き戸	ZYMK01-□	2本	6本	5本	10本	1本	8個
	引き違い戸	ZYMH01-□	2本	4本	9本	11本	1本	8個
備考 (部材品番等)			—	—	床直付けレール の場合は 使用しません。	枠と躯体の 固定に 使用できます。	使用しません	—

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:片側ソフトクローズ】											
部材名			枠外	セット品番	上部 ガイド	上部 キャッチャー (ビス1本セット)	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	トリガー 取り付け 治具
入数	片引き戸	1324・1190		ZYSKS4	2個	1個	6本	Ⓐ1	Ⓒ1	1	1
		1824・1644・1450		ZYSKL4	2個	1個	6本	Ⓑ1	Ⓓ1	1	1
	引き違い戸	1824・1644		ZYSHL4	4個	—	12本	Ⓑ2	Ⓓ2	2	1
備考 (部材品番等)					ZYNG01	ZYNCO1	ZYTA01	—	ⒸZYTS12 ⒹZYTL12	ZYTNC01	ZYTG11

Ⓐ ショートストローククローザー本体

Ⓑ ロングストローククローザー本体



※両側ソフトクローズにしたい場合は追加で下記セットをご発注ください。

別売品【ソフトクローズ金具セット】							
部材名				クローザー 本体	トリガー セット (ビス2本セット)	戸じゃくり キャップ (ビス1本セット)	
入数	片引き戸	1450・1324・1190	ZYSRS1-7	×1	Ⓐ1	Ⓒ1	1
		1824・1644	ZYSRL1-7	×1	Ⓑ1	Ⓓ1	1
	引き違い戸	1824・1644	ZYSRL2-7	×2	Ⓑ1	Ⓓ1	—

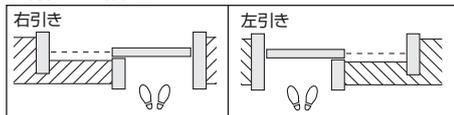
両側ソフトクローズ
片引き戸 施工
9ページに進んでください。

両側ソフトクローズ
引き違い戸 施工
14ページに進んでください。

引き手方向の確認

片引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、確認のうえ施工してください。

※片引き戸の場合のみ。



片引き戸 施工…3ページに進んでください。

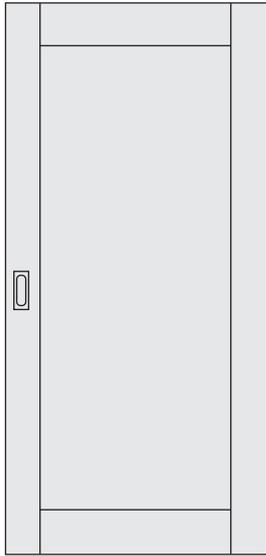
引き違い戸 施工…10ページに進んでください。

ソフトクローズ一覧表

■ドアのサイズによってソフトクローズ金具のサイズが異なります。ご注意ください。

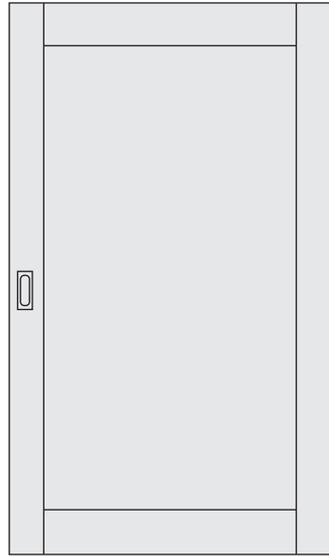
①ドアサイズ580～712の場合

スライダー Short+Short



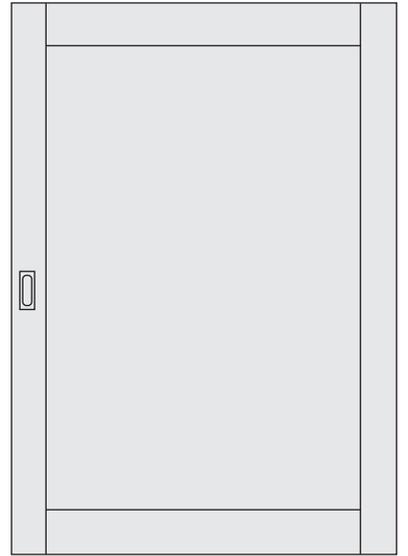
②ドアサイズ713～809の場合

スライダー Long+Short



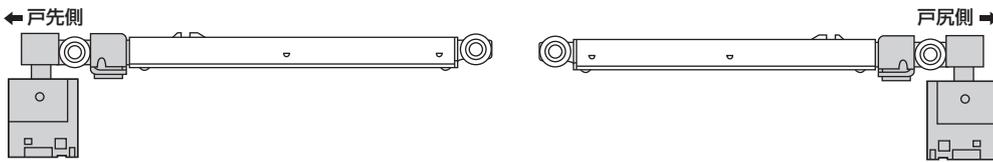
③ドアサイズ810～900の場合

スライダー Long+Long

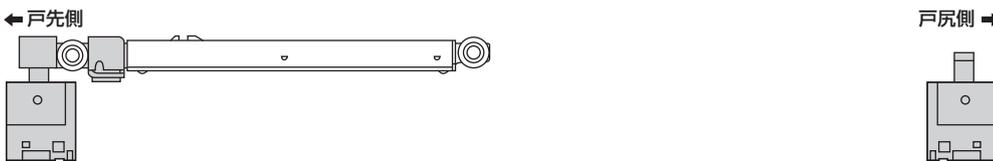


■クローザー本体の挿入向きをご確認ください。(下記図は下荷重の場合)

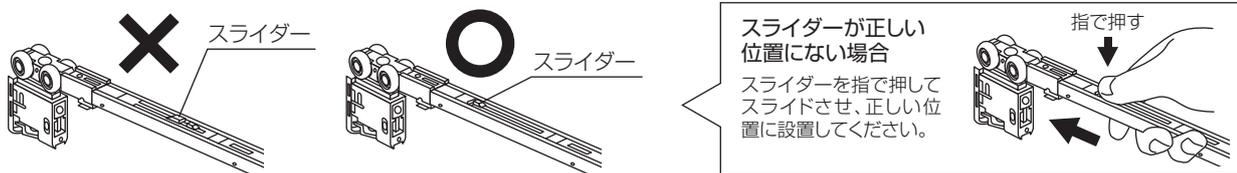
両側ソフトクローズの場合



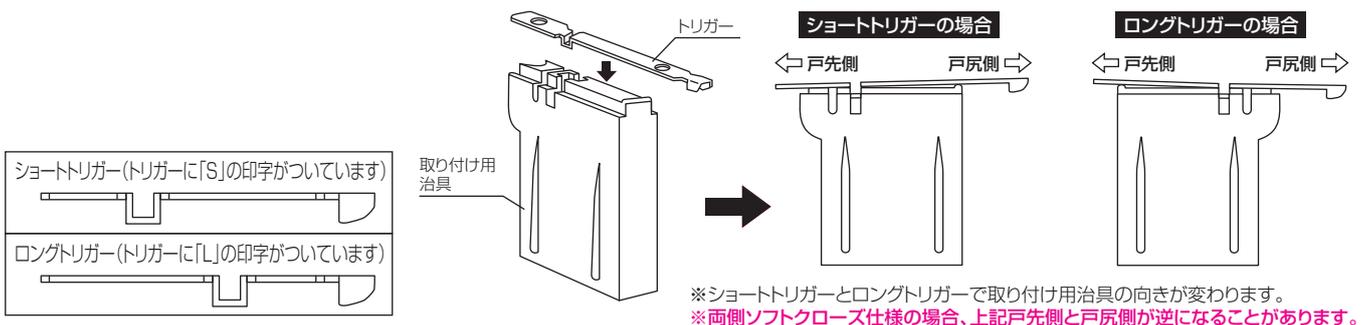
片側ソフトクローズの場合



■挿入前にスライダーの位置を確認してください。(下記図は上吊りの場合)



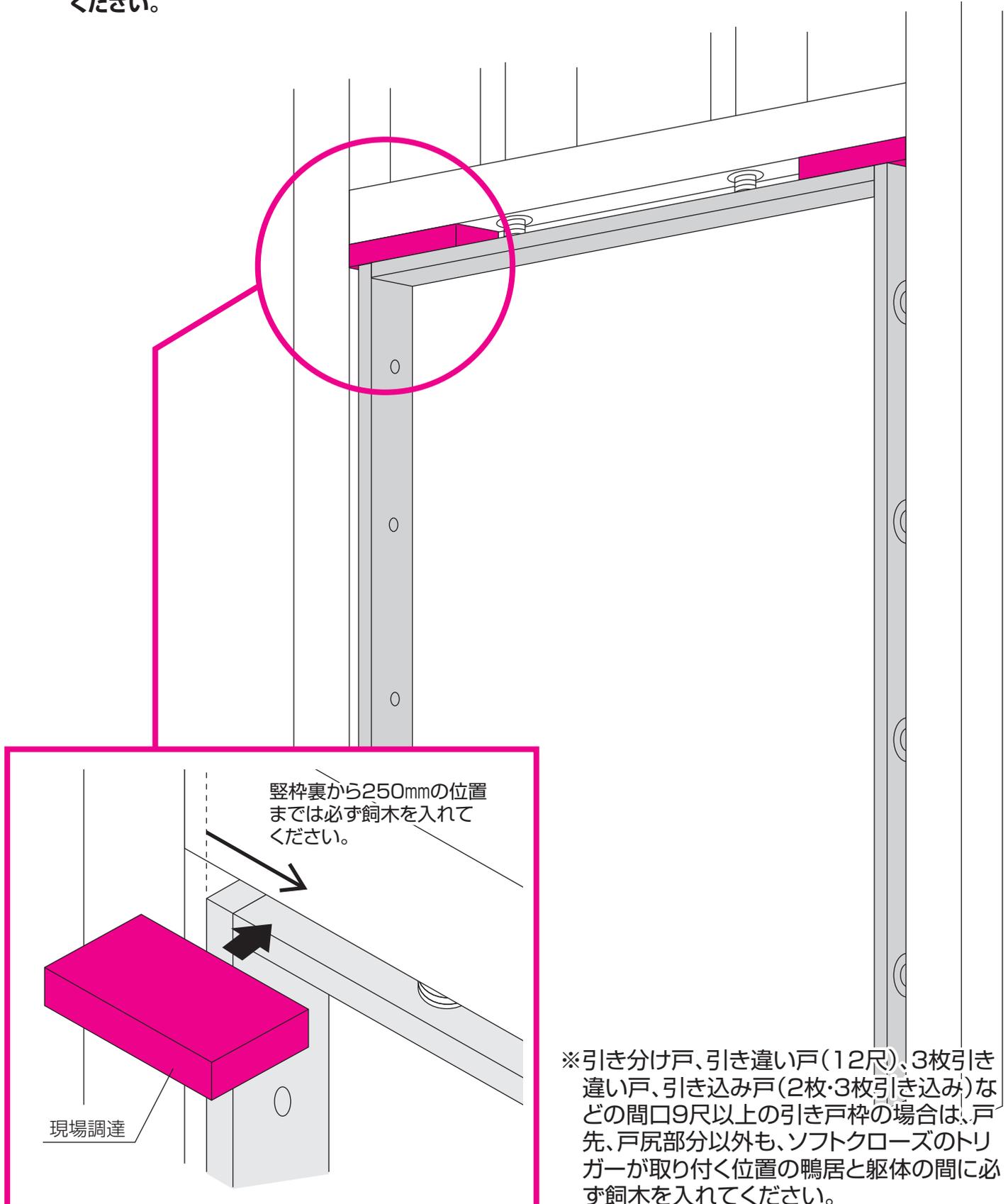
■トリガーの取り付け向きに注意してください。(トリガーはロング用とショート用の2種類あります)



必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付く位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。



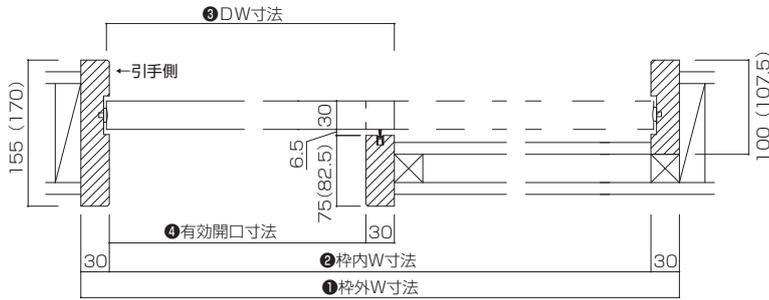
【片引き戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

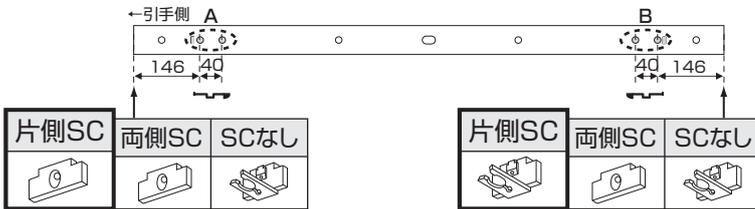
■ 枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)



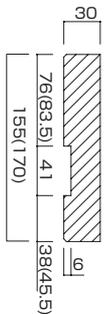
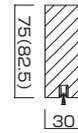
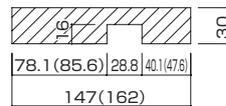
製品寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
① 枠外W寸法	1,824	1,644	1,450	1,324	1,190
② 枠内W寸法	1,764	1,584	1,390	1,264	1,130
③ DW寸法	900	810	713	650	583
④ 有効開口寸法	867	777	680	617	550

■ レール詳細図



■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B



鴨居

中方立て

堅枠(戸袋側)

堅枠(開口部側)

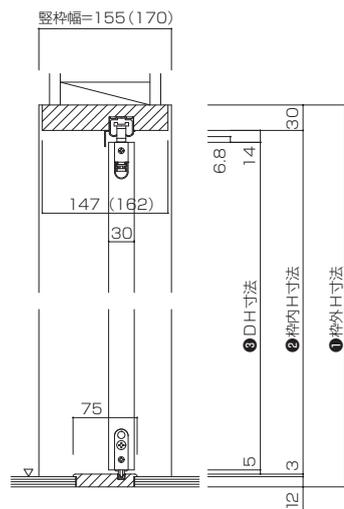
※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

※()内は170mm幅の寸法です。

縦断面図

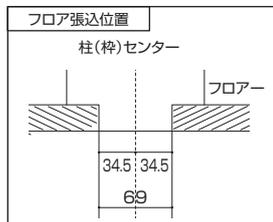
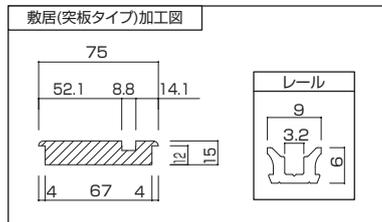
床埋め込み敷居の場合

(単位:mm)



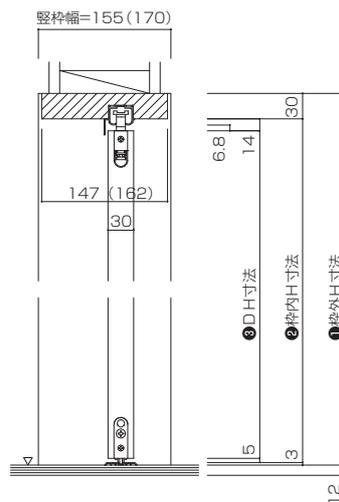
製品寸法	標準タイプ DH	ハイドア DH
① 枠外H寸法	1,983	2,183
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ DH寸法	1,983	2,183

※()内は170mm幅の寸法です。



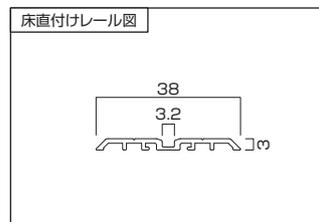
床直付けレールの場合

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH	ハイドア DH
① 枠外H寸法	1,983	2,183
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ DH寸法	1,983	2,183

※()内は170mm幅の寸法です。

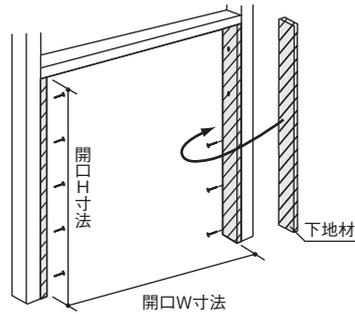


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

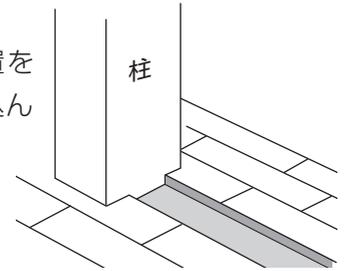
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。

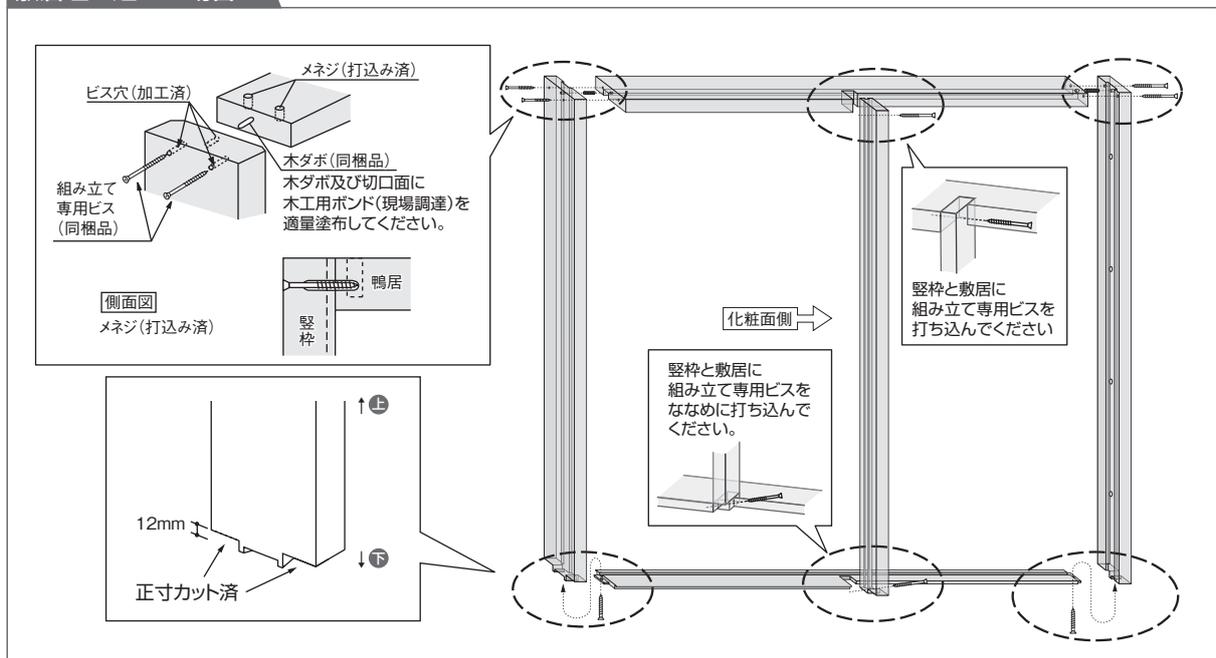


3 枠材の組み立て

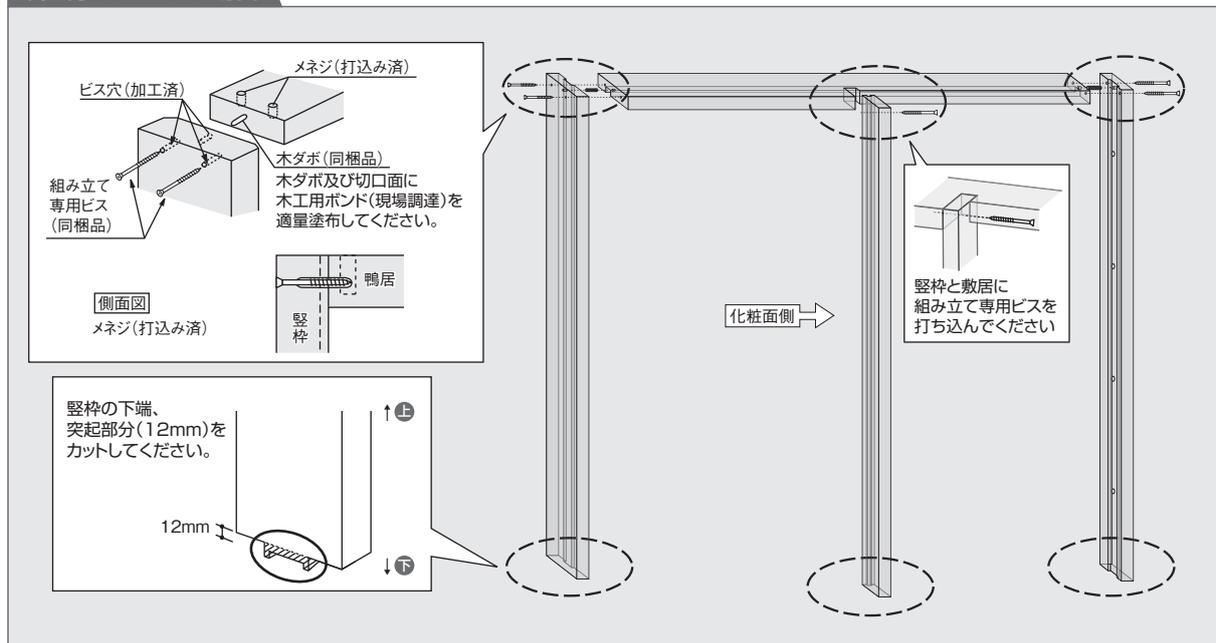
■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の固定と建て付け調整

■4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビス(同梱品)を縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

飼木 (現場調達)

躯体接合金具用ビス(同梱品)

インパクトドライバー(現地調達)

※下記の様なことがないようにご注意ください。

内そり	外そり	前後たおれ
左右たおれ	ねじれ	

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

クッションキャップ

注意
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

飼木 (現場調達)

下げ振り

水準器などを使用し、 $a=b$ となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

5 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

①敷居と下地の固定
敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。

敷居

ビス3ヶ所所め

ビス頭が残らないように締め込む

確認
敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

注意
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

フロアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフロアーなど12mm以上の厚みのフロアーを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

12mmの場合	15mmの場合
---------	---------

フロアー

ベニヤ板3mm

②レールの取り付け

Yレール取り付け時の注意

アテ材

Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。

お願い
敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

①戸じゃくりキャップの取り付け
戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

戸じゃくりキャップ

床直付けレール

②床直付けレール取り付け位置の確認
縦枠の戸じゃくりセンターが床直付けレールのセンターになるように位置決めをします。同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていないか、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

(L=16mm)

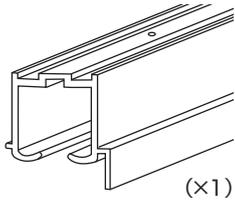
※レールのキズ防止のため、施工入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

6 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

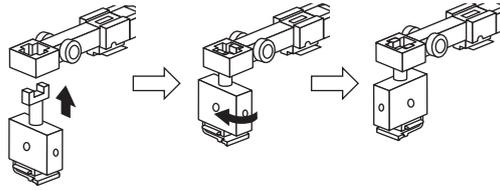
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

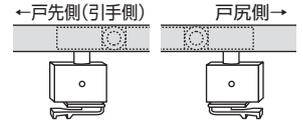
上部ガイドをクローザー本体先端の溝にはめ込み左右に90度回して取り付けてください。



⚠ 注意

レール挿入後に上部ガイドの向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。

※切れ込みの先端が戸先側(引手側)・戸尻側に向くように取り付けてください。

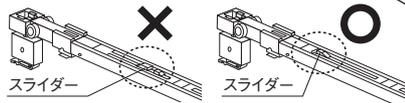


■クローザー本体の挿入

鴨居レールにクローザー本体を挿入してください。クローザー本体はソフトクローズ機構の仕様により挿入向きが異なります。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

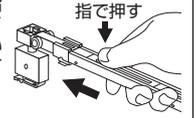
⚠ 注意

挿入前にスライダの位置を確認してください。



スライダが正しい位置にない場合

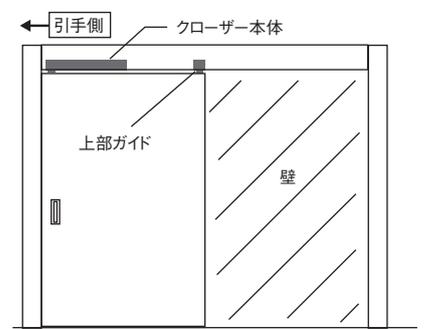
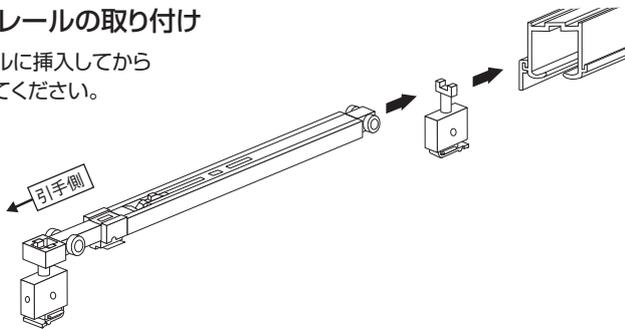
スライダを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

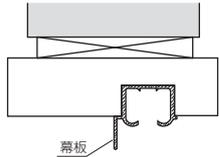
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

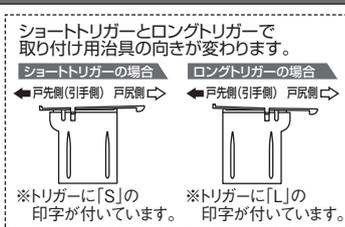
レールに付いている幕板を、鴨居芯側にに向けて取り付けてください。



トリガー-取付用具使用方法



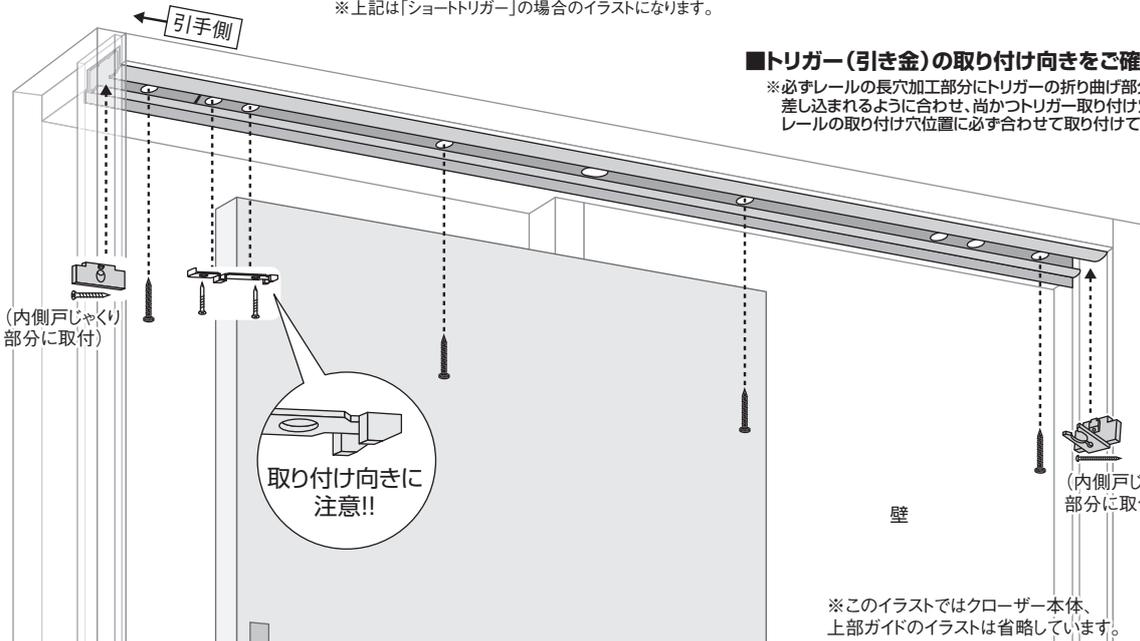
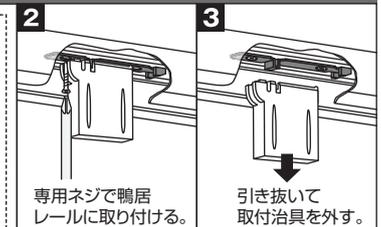
トリガー(引き金)を取付用具にセットする。



ショートトリガーとロングトリガーで取り付け用具の向きが変わります。

※トリガーに「S」の印字が付いています。 ※トリガーに「L」の印字が付いています。

※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。



取り付け向きに注意!!

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

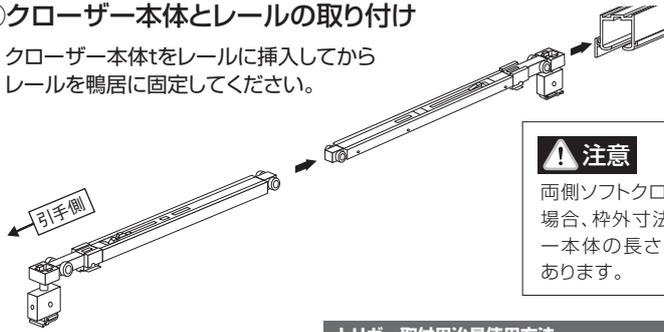
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

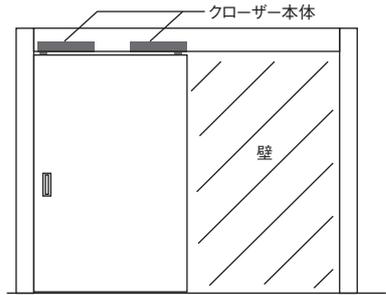
両側ソフトクローズ 仕様 オプション

①クローザー本体とレールの取り付け

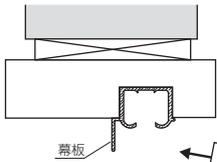
クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



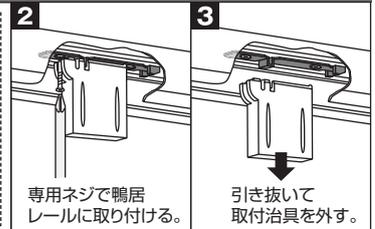
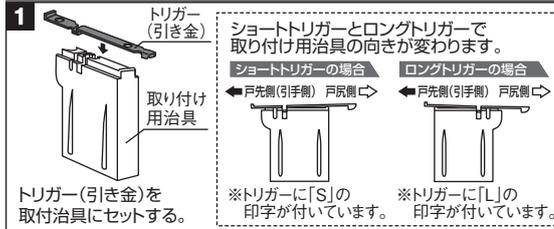
注意
両側ソフトクローズ機構ありの場合、枠外寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。



②鴨居レールの取り付け
レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。



トリガー取付用治具使用方法

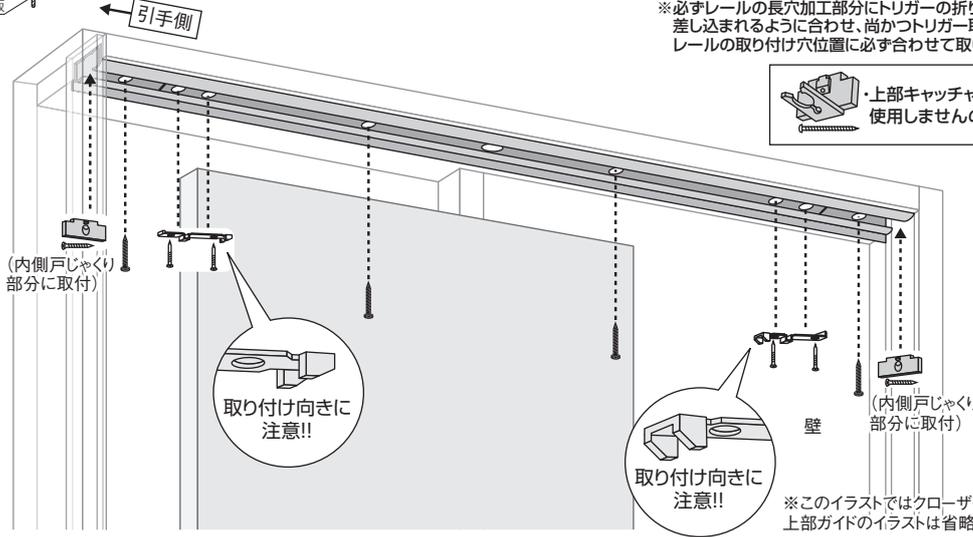


※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。

■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けください。

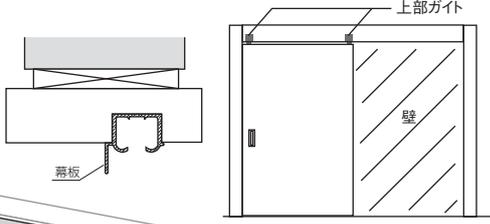
・上部キャッチャー(ビス1本セット)は使用しませんので残ります。



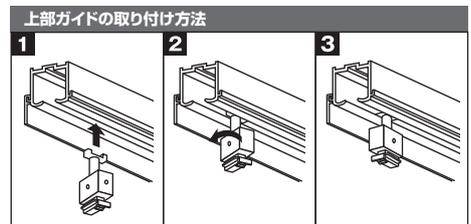
ソフトクローズなし オプション

①鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。

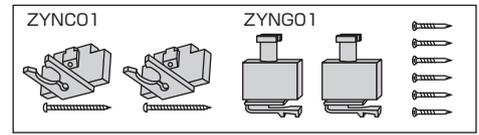


注意
上部ガイドは扉を吊り込むまで無くさないよう大切に保管、または確実に鴨居レールに取り付けておいてください。



上部ガイドを鴨居のレールの溝にはめこみ左右に90度回して取り付けてください。

<同梱品>
下荷重片引き戸用金具セット(品番:ZYSK04)



※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

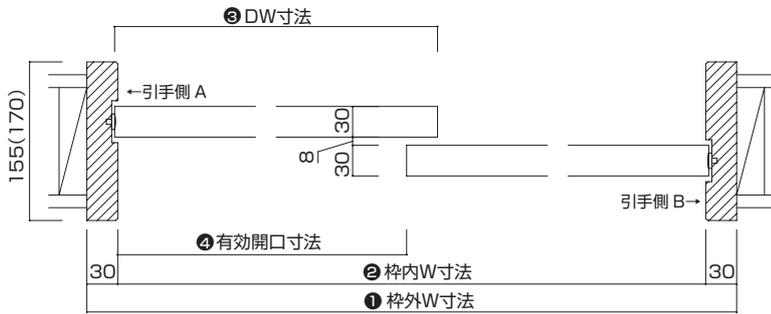
【引き違い戸】納まり図

下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

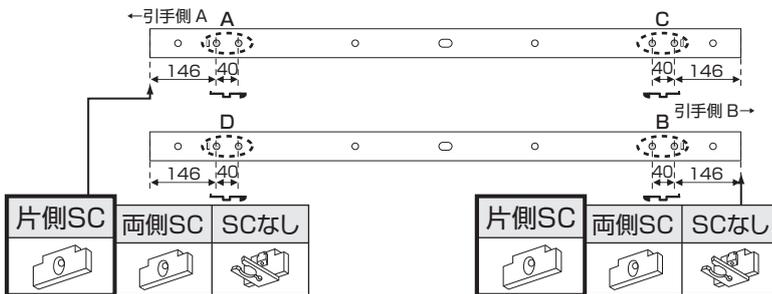
(単位:mm)

■ 枠製品寸法と納まり図



製品寸法	1,824	1,644
① 枠外W寸法	1,824	1,644
② 枠内W寸法	1,764	1,584
③ DW寸法	900	810
④ 有効開口寸法	864	774

■ レール詳細図

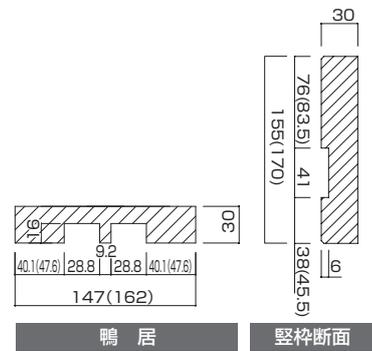


■ トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D



※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

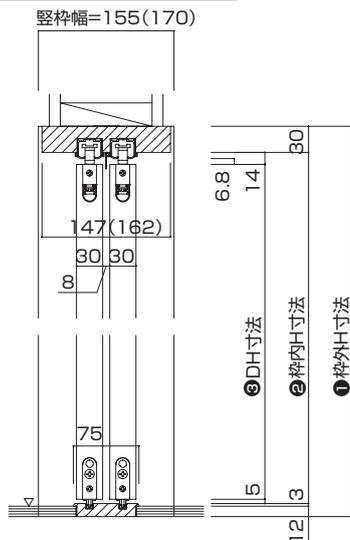


※()内は170mm幅の寸法です。

縦断面図

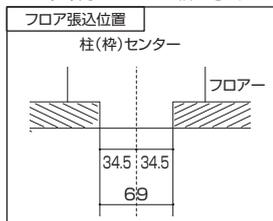
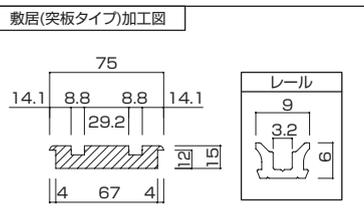
敷居埋め込みの場合

(単位:mm)



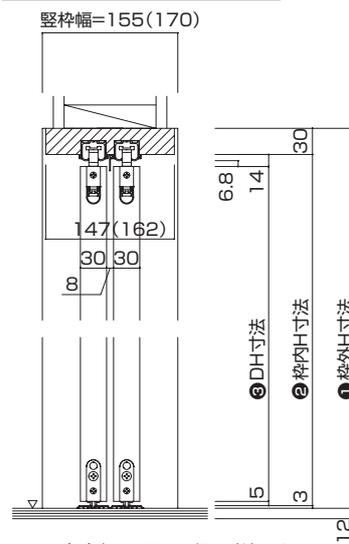
製品寸法	標準タイプ DH	ハイドア DH
① 枠外H寸法	2,047	2,247
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ DH寸法	1,983	2,183

※()内は170mm幅の寸法です。



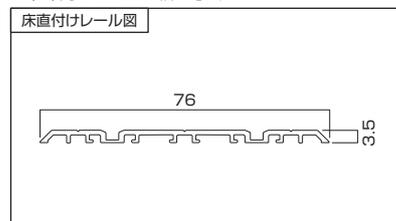
床直付けレールの場合

(単位:mm)



製品寸法	標準タイプ DH	ハイドア DH
① 枠外H寸法	2,035	2,235
② 枠内H寸法	2,002	2,202
③ DH寸法	1,983	2,183

※()内は170mm幅の寸法です。

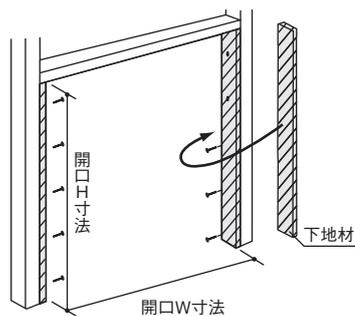


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

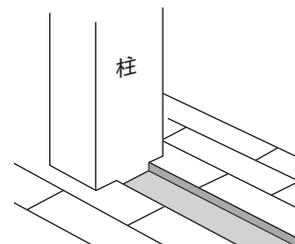
開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



2 フロアーの張り込み位置の確認

敷居埋め込みの場合のみ

■ フロアーの張り込み位置を確認し、フロアーを張り込んでください。

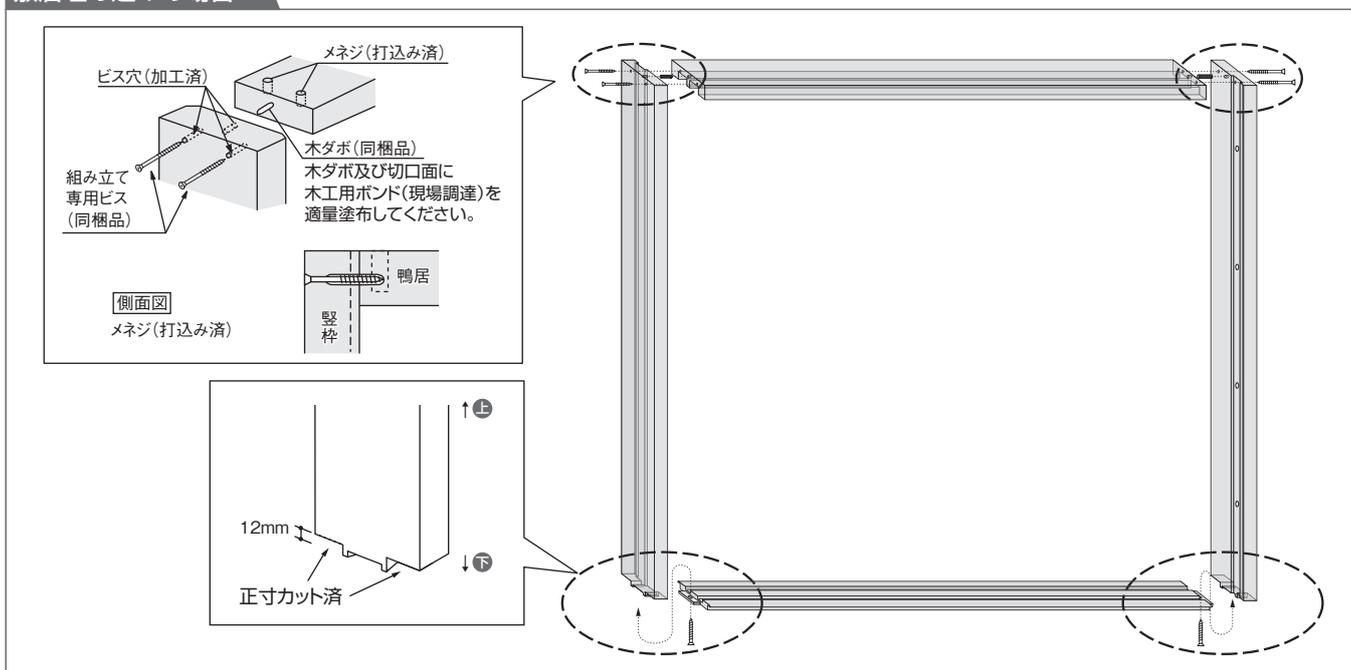


3 枠材の組み立て

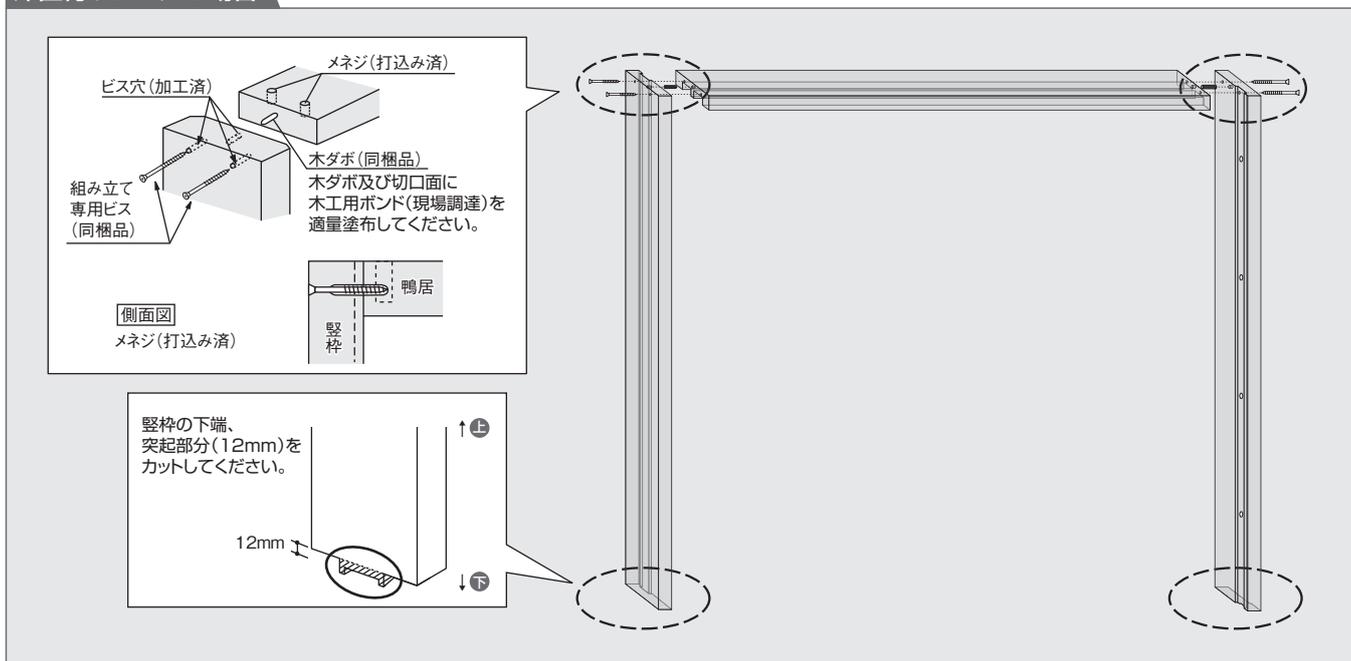
■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠、敷居などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。

敷居埋め込みの場合



床直付けレールの場合



4 枠材の固定と建て付け調整

4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビス(同梱品)を縦枠のビス穴から打ち込んで固定させていただきます。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

※下記の様なことがないようご注意ください。

内そり	外そり	前後たおれ
左右たおれ	ねじれ	

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。

注意
ソフトクローズ仕様の場合はトリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を入れる。
※この位置に飼木がないと、鴨居に負荷がかかってしまうおそれがあります。

水準器などを使用し、**a=b**となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

5 敷居・床直付けレールの取り付け

敷居埋め込みの場合

①敷居と下地の固定
敷居は木工用ボンド(現物調達)と下枠固定ビスの併用で下地材に固定します。

溝1本につき2ヶ所以上で固定します。

注意
敷居はバリアフリー(埋め込み施工)となります。

確認
敷居を固定するビスは、ビス頭が残らないように確実に締め込んで、木くず・ゴミなどを除去し、平滑にしてください。

ビス頭が残らないように締め込む

敷居 (L=25mm)

フローアの厚みは12mmを基準にしています。15mmフローアなど12mm以上の厚みのフローアを使用の場合は、ベニヤ板などで高さの調整をおこなってください。

12mmの場合

15mmの場合

ベニヤ板3mm

②レールの取り付け

Yレール取り付け時の注意

アテ材

Yレールをはめ込む際には必ずアテ材などを使用して、ゴムハンマーでたたき込んでください。

※レールが完全に敷居に入っていることを確認してください。

お願い
敷居の端のツバ部分をたたくと割れるおそれがあります。必ず敷居中央を目安にたたき込んでください。

床直付けレールの場合

①戸じゃくりキャップの取り付け
戸じゃくり部分に接する床直付けレールの端部へ、戸じゃくりキャップを取り付けます。

戸じゃくりキャップ
床直付けレール

②床直付けレール取り付け位置の確認
戸じゃくりキャップ部分が、縦枠の戸当たり溝の位置にきちんとはまるように位置決めをします。同梱のレール固定ビスで床直付けレールの下穴からレールを固定します。ビス固定の際、ビスが垂直に固定されていなかったり、床直付けレールが床から浮いた状態だと、引戸の動作不良の原因となりますので注意してください。
※床直付けレールの場合、同梱の下枠固定ビスは使用しません。

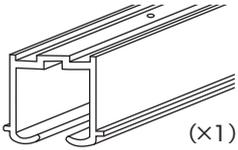
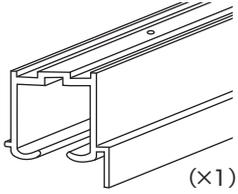
※レールのキズ防止のため、施工様入居までは養生等を施し、砂・ホコリ等が付着しないようにしてください。

6 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

■幕板と鴨居レールの取り付け

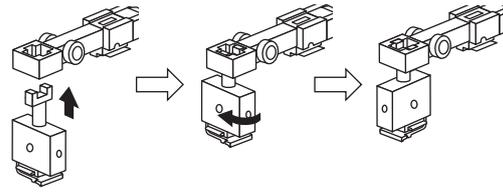
幕板付きの鴨居レール
(アルミレール)になります。



〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

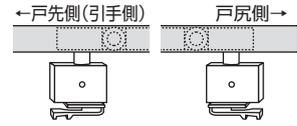
上部ガイドをクローザー本体先端の溝にはめ込み左右に90度回して取り付けてください。



⚠ 注意

レール挿入後に上部ガイドの向きの変更は出来ませんので確実に取り付けを行ってください。

※切れ込みの先端が
戸先側(引手側)・
戸尻側に向くように
取り付けてください。

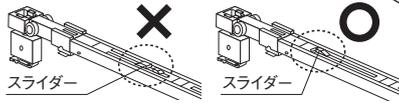


■クローザー本体の挿入

鴨居レールにクローザー本体を挿入してください。スライダはソフトクローズ機構の仕様により挿入向きが異なります。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 注意

挿入前にスライダの位置を確認してください。



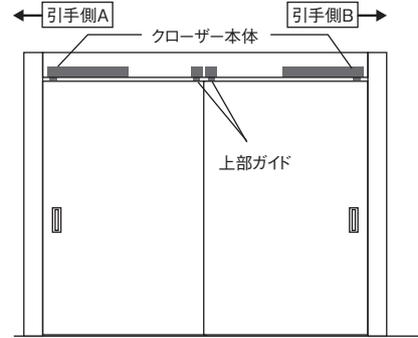
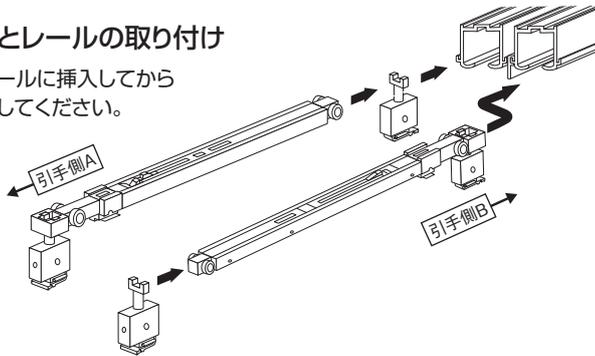
スライダが正しい位置にない場合
スライダを指で
押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。



片側ソフトクローズ 仕様 標準

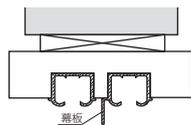
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



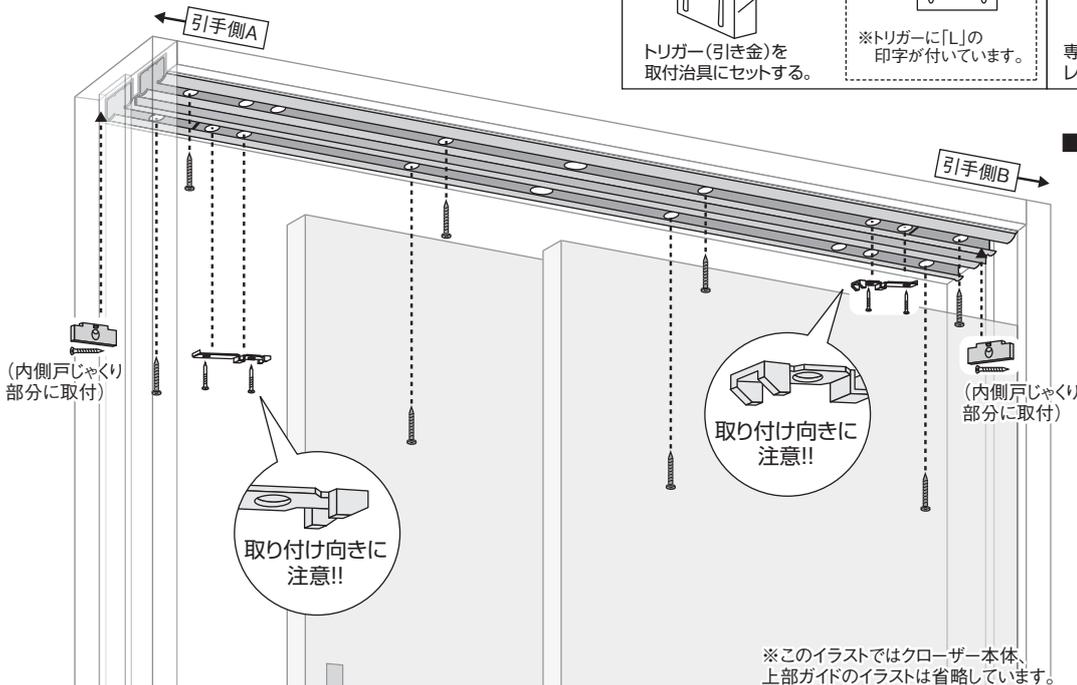
トリガー取付用治具使用方法

1 トリガー(引き金)
取り付け用治具
トリガー(引き金)を取付治具にセットする。

2 トリガーに「L」の印字が付いています。
※トリガーに「L」の印字が付いています。

3 専用ネジで鴨居レールに取り付ける。

引き抜いて取付治具を外す。



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

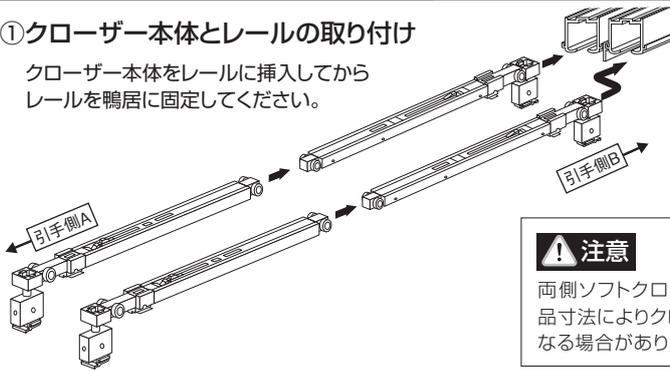
※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

両側ソフトクローズ 仕様 オプション

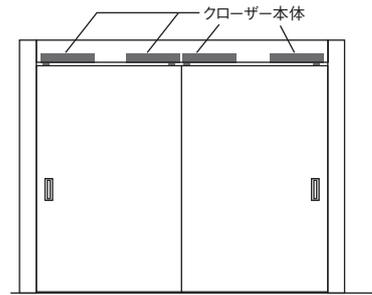
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



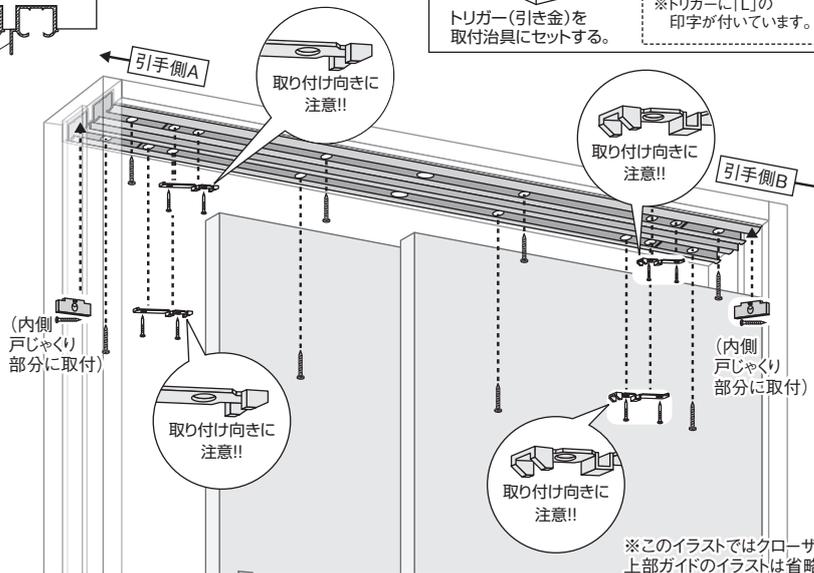
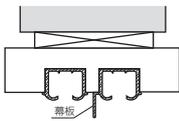
注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。

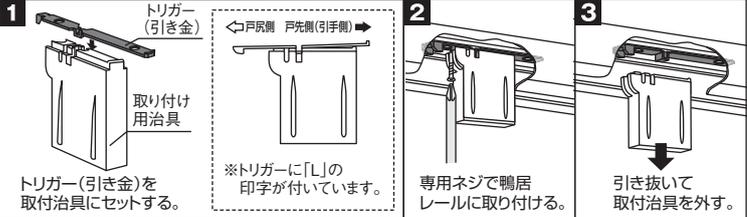


②鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。



トリガー取付用治具使用方法



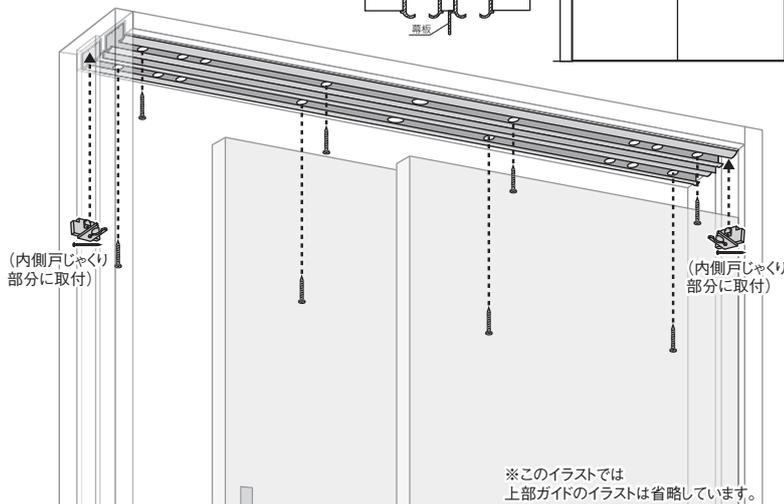
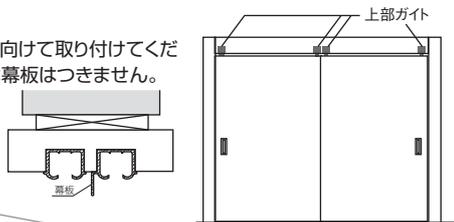
トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴が所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。

ソフトクローズなし オプション

①鴨居レールの取り付け

レールに付いている幕板を、鴨居芯側に向けて取り付けてください。引き違い戸では片方のレールには幕板はつきません。

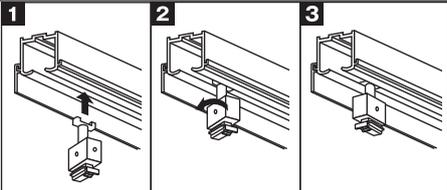


※このイラストでは上部ガイドのイラストは省略しています。

注意

上部ガイドは扉を吊り込むまで無くさないよう大切に保管、または確実に鴨居レールに取り付けておいてください。

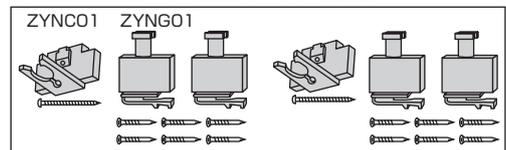
上部ガイドの取り付け方法



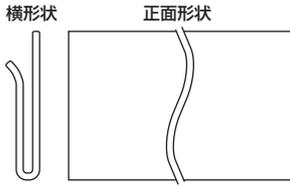
上部ガイドを鴨居のレールの溝にはめこみ左右に90度回して取り付けてください。

<同梱品>

下荷重引き違い戸用金具セット(品番:ZYSH04)



オプション 幕板カバー

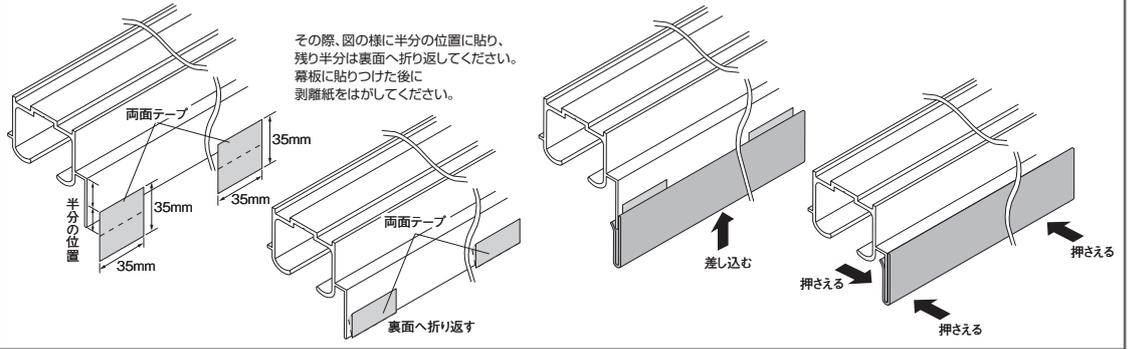


品番	引き戸用幕板カバー材	
品名	ZHFM18-□	ZHFM36-□
サイズ	1,800×20×3	3,600×20×3
備考	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ1シート 両面テープは 35×35mm6枚/1シート	1本/袋入り 表示ラベル貼 両面テープ2シート 両面テープは 35×35mm角6枚/2シート

取り付け方法

① 幕板に付属の両面テープを貼ります。
(レールの両端に貼り、あとは均等に貼ってください。)

② 幕板カバーの長さをカットし、幕板に差し込み、全体を指で押さえて
両面テープにしっかり固定してください。



施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

